

意図的に不毛な対立をつくっているのは会社です！

2月20日、JR東日本会社は富田社長名で中央本部に対して、「争議行為中止の申し入れ」を本部に手渡してきました

さらに、2月22日に本部一本社間で開催予定だった経営協議会について、会社は「現状を打開するための議論に集中するため」ということを理由にして、経営協議会は延期となりました

JR東労組は団体交渉を求めています、会社は団体交渉の席につきません！

中央本部は「ベースアップを実施する場合は所定昇給額を算出基礎にしないこと」「労使紛争に幕を閉じること」を求めて、団体交渉を求めています！不毛な対立など求めています。

しかし、JR東日本会社が今行っていることは、団体交渉の席に真摯につかなくて、ストライキをやることを前提にした対策ばかりです。

しかも「現状を打開するための議論に集中するため」と理由にして、経営協議会を延期していながら、やっていることは本社・支社幹部が職場に来て「組合脱退工作」を繰り広げています。完全にブラックです！

経営協議会を延期したなら、その時間で団体交渉を開催すべきです！しかし、都合の悪いことは全てごまかし、圧力で社員をねじ伏せ「組合脱退工作」を行う会社をどう思いますか！

安全第一な職場をつくるどころか、職場を混乱・動揺させる会社に、もはや「安全」を語る資格もありません！

意図的に混乱させ、団体交渉の席につかない会社の姿勢は異常だ！
私たちは、直ちに団体交渉を行うことを求めるものです！